

- 問1 鎌倉時代から室町時代にかけての日本の農業について述べた文として、当時の技術や社会背景をふまえて最も適切なものはどれですか。14世紀末の農業の様子を描いた絵巻物の記録などに基づき、正しい内容を選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 西日本を中心に、同じ耕地で夏に米、冬に麦を栽培する二毛作が広まり、牛馬による耕作も行われるようになった。 | 2. 海外輸出を目的とした製糸業が農村の副業として定着し、全国の耕地で桑の栽培が米より優先された。 | 3. 備中鍬と呼ばれる深く耕すための農具が発明されたことで、大規模な新田開発が幕府主導で進められた。 | 4. 石包丁を用いて稲の穂の部分だけを摘み取る収穫方法が全国に広まり、食料生産が安定した。 |
|---|---|--|---|
- 問2 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げ、幕府軍に敗れた出来事について、この乱のあとに幕府が朝廷を監視し京都の警備を行うために設置した役職と、乱の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 1. 承久の乱 ― 問注所 | 2. 平治の乱 ― 評定衆 | 3. 平治の乱 ― 六波羅探題 | 4. 承久の乱 ― 六波羅探題 |
|---------------|---------------|-----------------|-----------------|
- 問3 承久の乱の戦後処理において、鎌倉幕府が西日本への統制を強めるために、没収した土地へ派遣した「東日本の武士」に与えられた役職として正しいものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|----------|
| 1. 地頭 | 2. 評定衆 | 3. 守護 | 4. 六波羅探題 |
|-------|--------|-------|----------|
- 問4 馬を用いた運送業者である馬借が活動するなど、中世の経済が変化していく中で出された「永仁の徳政令」の内容について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 戦争のために必要な物資や労働力を、政府が強制的に動員できるようにした | 2. 全ての国民に対して、幕府が所有する土地を一律に分配し直した | 3. 外国船の来航を禁止し、国内の運送業者による独占的な貿易を認めた | 4. 御家人が借金の担保として手放した領地を、無償で取り戻せるようにした |
|---------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
- 問5 鎌倉幕府における「御恩と奉公」の制度について、武士が日常的に武芸の訓練に励んでいた背景を踏まえ、その具体的な義務の内容として正しいものを次の中から選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 戦時に軍勢として駆けつけるほか、交代で京都や鎌倉の警備にあたった | 2. 将軍から給与としてコメを受け取る代わりに、領地の管理のみを行った | 3. 幕府の許可を得て、外国との貿易による利益を将軍に献上した | 4. 朝廷から直接任命を受け、地方の警察権や裁判権を独占した |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
- 問6 鎌倉幕府が発令した「永仁の徳政令」が、その後の社会に与えた影響について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 全国の港で貿易が活発になり、宋銭に代わって幕府が新しく発行した独自の貨幣が広く流通するようになった。 | 2. 御家人の地位が飛躍的に向上し、北条氏による執権政治が終わりを迎え、将軍が直接政治を行う体制が復活した。 | 3. 貸し借りの契約が無効になると恐れられた金貸したちが、武士への融資を拒むようになり、かえって武士の生活が混乱した。 | 4. 農民の不満が解消されて大規模な一揆が収まり、幕府による地方支配がこれまで以上に安定した。 |
|---|--|---|---|
- 問7 鎌倉幕府が置かれ、日蓮宗などの布教活動も盛んに行われた都市である鎌倉の地形や構造について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大陸の都市計画を参考に、中央に天皇の住まいを置き、碁盤の目状に道路が整備された平城京のような構造である。 | 2. 三方を山に囲まれ一方が海に面した要害の地であり、中心部には鶴岡八幡宮から延びる若宮大路が配置されている。 | 3. 広大な平地に位置し、堀や石垣で囲まれた武家屋敷と町人地が明確に区別された城下町の構造を持っている。 | 4. 明との貿易などで栄えた港町であり、会合衆と呼ばれる有力な商人たちによって自治が行われていた。 |
|---|---|--|---|
- 問8 13世紀後半、モンゴル帝国（元）が二度にわたって日本へ侵攻してきた「元寇」の際、鎌倉幕府の最高責任者として、九州の御家人らへ軍役の指示を出し、京都や鎌倉の警備を指揮した人物は誰ですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|------------|--------|
| 1. 北条時宗 | 2. 北条泰時 | 3. フビライ・ハン | 4. 源頼朝 |
|---------|---------|------------|--------|
- 問9 鎌倉時代、元寇（蒙古襲来）に際して御家人に防御を命じるなど、国防に当たった執権の北条時宗は、禅宗を深く信仰していたことで知られています。この時代に成立した禅宗の背景や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 朝鮮半島の百濟から仏教が伝来した直後の時期であり、主に渡来人の一族によって信仰された。 | 2. 奈良の東大寺に大仏を造営し、全国に国分寺を置くことで、国家の力で災いを取り除こうとした。 | 3. 念仏を唱えれば誰もが極楽浄土へ行けると説く浄土信仰が、平安時代の貴族の間に広まったものである。 | 4. 宋に渡った宋西や道元によって伝えられ、厳しい修行や座禅を重視する教義が武士の気風に受け入れられた。 |
|--|---|--|--|
- 問10 13世紀後半にモンゴル帝国（元）が二度にわたって日本に侵攻してきた「元寇」において、当時の日本の武士を驚かせた元軍の戦い方の特徴として正しいものはどれですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 一対一での名乗り合いを重視した戦法と、槍による接近戦 | 2. 大型の帆船から大砲を打ち込む遠距離戦と、上陸後の伏兵戦 | 3. 組織的な集団戦法と、火薬を用いた「てつほう」による攻撃 | 4. 鉄砲を組織的に用いた一斉射撃と、騎馬隊による突撃 |
|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
- 問11 1232年、鎌倉幕府の3代執権である北条泰時が、武士社会の慣習をもとにして定めた、武士のための最初の体系的な法典を何といいますか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|----------------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 公事方御定書 | 3. 建武式目 | 4. 御成敗式目（貞永式目） |
|----------|-----------|---------|----------------|
- 問12 13世紀に世界各地に大きな影響を与えたモンゴル帝国の支配領域に関する記述として、最も適切なものはどれか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. アメリカ大陸から大西洋を越え、西ヨーロッパの沿岸部までを勢力圏とした。 | 2. 東アジアから中央アジアを経て、ヨーロッパ東部に至るまでを支配下に置いた。 | 3. 地中海を囲む全域を支配し、ヨーロッパから西アジア、北アフリカまでを領土とした。 | 4. インドから東南アジアの諸島部にかけて、海上交易路を独占する海洋帝国を築いた。 |
|--|---|--|---|
- 問13 鎌倉時代において、将軍が御家人の先祖伝来の所領を保証したり、戦功に応じて新たな土地を与えたりする一方で、御家人が将軍のために軍役や番役を果たすことで成立していた主従関係を何といいますか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-------|-------|
| 1. 封建制度 | 2. 御恩と奉公 | 3. 知行 | 4. 寄進 |
|---------|----------|-------|-------|